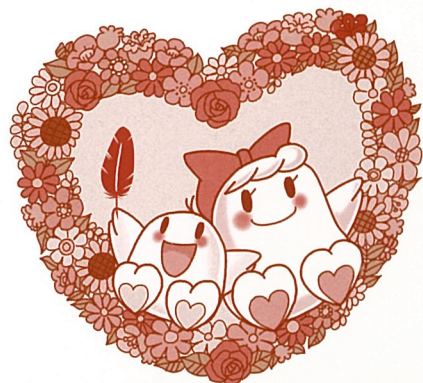


# もし標津川が 氾濫したら 私たちは??



平成29年度中標津町社協地域福祉講演会  
テーマ みんなの力で  
地域を支え合う

## 参加申込みのご案内

私たちが住む中標津町においても、大地震や台風・暴風雨・大雨また大雪・猛吹雪など災害はいつ発生するか分かり

ません。しかし災害時には、公的な支援だけに頼るだけではなく、私たち住民自らの取り組みが必要不可欠となります。そのためにも常日頃より一番身近な隣近所や町内会住民による互いの支え合い活動について、何が出来るのかを考えるとともに、人と人をつなぐ災害ボランティアセンターの役割と仕組みについて理解しておく必要があります。

そこで、本講演会は地域住民が地域福祉に関わるテーマの一つとして、私たち一人一人が地域における災害時の助け合いについて、支援内容や具体的な取り組み方法、また災害ボランティアセンターの運営について学び、予期せぬ災害に対する地域づくりの重要性について考える事を目的とします。

平成30年  
**1/27** 土  
13:00~15:00  
中標津町経済センター  
なかまっぷ  
(中標津町東2条南2丁目)

私たちは、災害時に何ができるのか!

町民一人一人が、災害時支援に真摯に向き合い「助け合い」で取り残される人がでないよう災害時に備える地域づくりや取り組みについて共に考えませんか?

## 基調講演

### 「人が繋ぐ地域の助け合い ～平成28年清水町の大雨災害から見た これからの地域づくり～」

清水町社会福祉協議会 総務係 係長 會田 豊氏

清水町では、平成28年台風10号の影響で様々な被害が発生しました。人的被害では行方不明者2名、建物被害は全壊、半壊、一部損壊、床上、床下浸水があり、農業被害も深刻な状況でした。国道・道道・町道の損壊が30ヶ所以上、橋梁は20ヶ所以上7河川の破損があり、加えて断水、通信網の不通、鉄道の運休などライフラインの維持が困難状況に陥りました。

被災地の清水町社会福祉協議会における取組を交えながら災害ボランティアセンターの運営や支援活動、この大きな災害から見た、行政の役割、地域住民の活動、そして、災害時に重要不可欠だったことは何か等についてお話を伺います。



●後援／中標津町 ●参加予定定員／100名 参加費は無料で、どなたでもご参加いただけます。

----- ✕ ----- 切 り 取 り 線 ----- ✕ -----

## 《中標津町社協 平成29年度地域福祉講演会》参加申込書

申込締切り／平成30年1月19日(金)

送付先 Fax:79-1233 電話:79-1231 または中標津町社会福祉協議会 地域支援業務担当 数原(かずはら)までご持参下さい。

住所

氏名

電話番号